永　福

令和５年６月３０日
杉並区立永福小学校

日常ツールとしての「タブレット」

ＩＣＴ主任

児童へタブレットが配布され、子供たちにとっては日常のツールへとなってきています。日頃よりタブレット端末の利用につきましては、ご家庭でのご協力をいただき、ありがとうございます。このタブレット端末は、文部科学省の「GIGA スクール構想」に基づいて配布されました。GIGA とは「Global and Innovation Gateway for All」の略で「すべての人にグローバルで革新的な入り口を」という意味です。子供たち一人一人に個別最適化され、想像力を育めるように、という意図のもと行われたものです。

このねらいに基づいて、永福小学校では日々の学習の中では多くのアプリケーションを使っています。保護者の中には「これロイロで提出するの！」と子供から聞くけれど、「ロイロ」って何？「ミライシード」ってどんなアプリ？そう疑問をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。そこで今回はこの場をお借りして、主要の２つのソフトについてご説明いたします。公開授業や家庭学習の際に様子をご覧になり、家庭の話題の一助にしていただければ幸いです。

●ロイロノート

情報を整理したり、集約したりして思考を整理するツール。共通点や相違点を探して考えをまとめる「ベン図」や、段階的に整理して要点を見つける「ピラミッドチャート」等、多くの「思考の型」を使うことができます。カードと呼ばれるシートをつなぎ合わせることで、手軽にプレゼンテーションのスライドとしても利用できます。また、子供たち同士で、それぞれの考えを見比べることが容易にできます。

●ミライシード

問題が提示され、答えることで即時採点されます。誤答の数やパターンに応じて、復習が必要であると判断される場合には、適切なレベルな問題を出題します。学びのつまずきに立ち戻って復習することができるのがよさです。

これらのソフトや内容は、児童の発達段階に応じて適切なタイミングを考え実施しています。その他に、低学年においては、電源の入れ方やタッチのしかたについて学びます。中学年では、ローマ字の学習と関連させてタイピング（ローマ字入力）による方法を学び、使用の幅を広げていきます。高学年では、これらのことをもとに学習や委員会・クラブ等様々な場面で活用していきます。

また、インターネットやデジタル機器とのかかわり方として、情報モラルに関する学習も行っています。効果的な指導となるよう、ご家庭での指導との「合わせ技」で進めていきたいと考えています。

7月の生活目標『ものを大切にしよう』

学校生活の中で身につけさせたいことの一つに「ものを大切にすること」があります。

短くなった鉛筆、小さくなった消しゴムを大事に使う子、みんなが使ったボールや一輪車を片付ける子、ゼッケンを丁寧にたたんでしまう子など、みんなで使うものも大切にできる子も大勢います。しかし、自分のものやみんなで使うものに無関心で、失くしたり壊したりしてもそのままになっていたり、すぐに新しくする子もいます。落とし物コーナーには、ハンカチ、シャツ、鉛筆、定規などまだまだ使えるものがいっぱいですが、無記名のため本人の元に返すことができません。自分のものに愛着を持ち大切にする子になってほしいと思います。それは、友達、みんなのものを大切にすることにつながります。